

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年5月2日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡市早良区次郎丸2-24-8

氏 名 (株)福岡ヨシダ 吉田和幸
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 092-871-4510

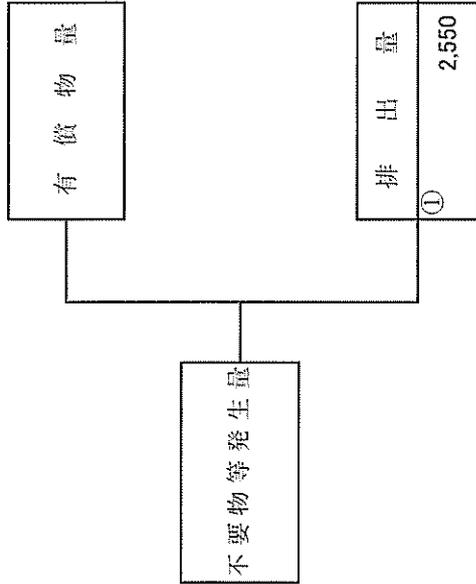
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 福岡ヨシダ
事業場の所在地	福岡市早良区次郎丸2-24-8
事業の種類	2222窯業。土石製品製造、生コンクリート製造販売
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,400 t	全処理委託量	2,400 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2,400 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：ガラス、陶磁器くず)

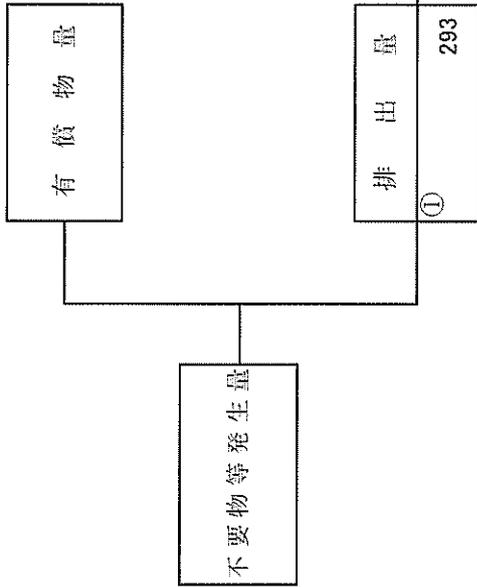


項目	実績値
①排出量	2,550
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	2,550
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	2,550
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

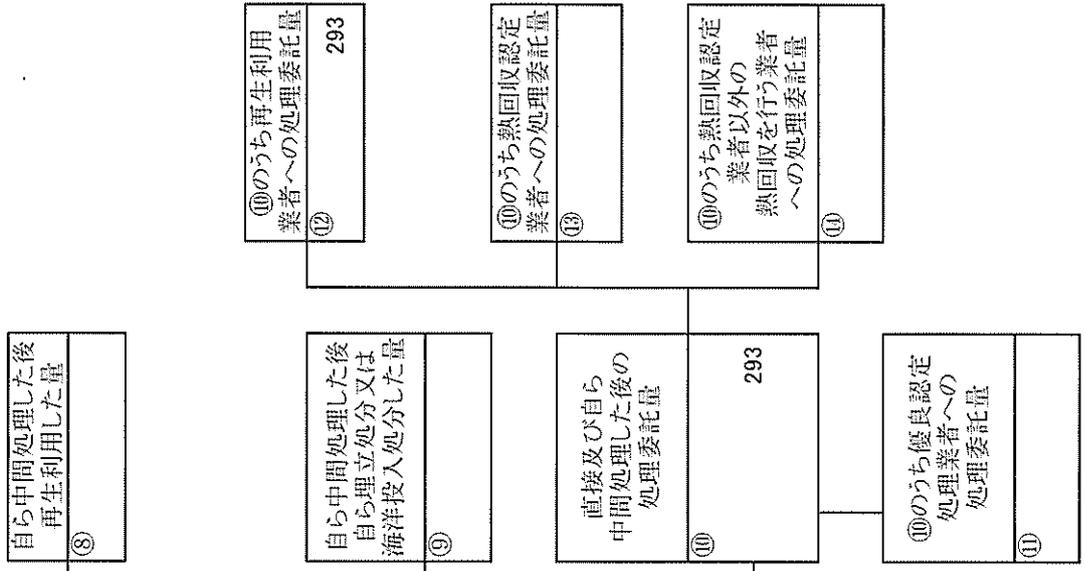
自ら直接再生利用した量 ②	自ら中間処理した後の再生利用した量 ⑧	⑫のうち再生利用業者への処理委託量 2,550
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬
自ら中間処理した量 ④	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭
④のうち熱回収を行った量 ⑤		
自ら中間処理した後の残ざり量 ⑥		
自ら中間処理により減量した量 ⑦		
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	

(産業廃棄物の種類：建設汚泥)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	293
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	293
⑩優良認定処理業者への処理委託量	
⑨再生利用業者への処理委託量	293
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑫熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	



⑫のうち再生利用業者への処理委託量
293

⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑧のうち再生利用した後の再生利用した量

⑨のうち埋立処分又は海洋投入処分した後の残存量

⑩のうち直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
293

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

②のうち自ら直接再生利用した量

③のうち自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑥のうち自ら中間処理した後の残存量

⑦のうち自ら中間処理により減量した量

④のうち自ら中間処理した量

⑤のうち④のうち熱回収を行った量

⑩のうち直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
293

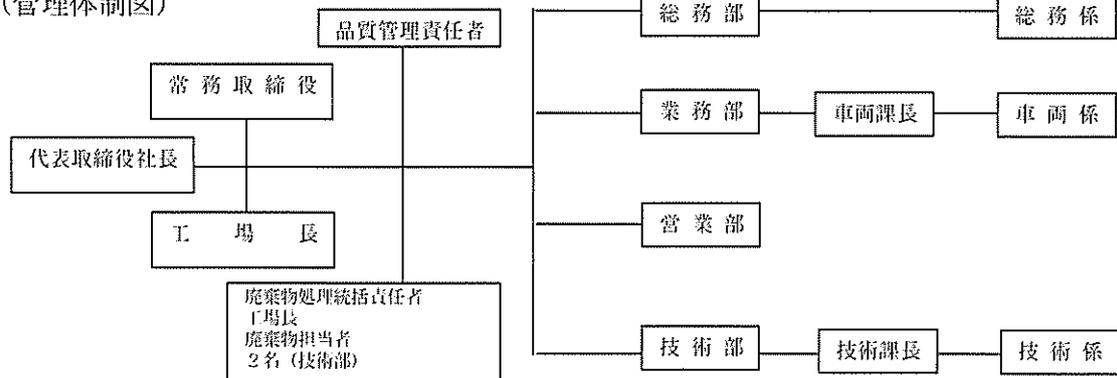
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年5月2日	
福岡市長 殿	
提出者	
住 所 福岡市早良区次郎丸2-24-8	
氏 名 (株)福岡ヨシダ 吉田 和幸	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 092-871-4510	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社 福岡ヨシダ
事業場の所在地	福岡市早良区次郎丸2-24-8
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2222窯業、土石製品製造、生コンクリート製造販売
②事業の規模	資本金1000万円
③従業員数	17名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	販売し残った生コンを持ち帰る→残コン処理→残コン処理分級機にかける→セメント汚泥を専用の絞り機にかけパウダー状に固める→処理済の砂、碎石、汚泥パウダーを残コンクリートと混ぜ合わせて固める→処理業者へ搬入。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス、陶磁器くず	建設汚泥
	排 出 量	2550 t	293 t
	(これまで実施した取組) 購入先へ極力残コンクリートが発生しない様に、発注をお願いした。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス、陶磁器くず	建設汚泥
	排 出 量	2000 t	400 t
	(今後実施する予定の取組) 前年度に引き続き購入先へ残コンクリートが発生しない発注をお願いする。 又、残コンクリートが発生した場合極力現場での処理をお願いする。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
—			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
—			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ ー 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス、陶磁器くず	建設汚泥
	全処理委託量	2550 t	293 t
	優良認定処理業者への処理委託量	ー t	ー t
	再生利用業者への処理委託量	2550 t	293 t
	認定熱回収業者への処理委託量	ー t	ー t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ー t	ー t
	(これまでに実施した取組) 中間において発生量を確認し、目標数を超えていたので購入先へ残コンクリートが出ないようにお願いをした。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス、陶磁器くず	建設汚泥
	全処理委託量	2000 t	400 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	2000 t	400 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>生コンクリート購入先へ残コンクリートの発生がない様に極力お願いをする。</p> <p>又、残コンクリートが発生した場合極力現場での処理をお願いする。</p>		
※事務処理欄	—		